

琵琶湖水および流入河川における有機フッ素
化合物の実態把握

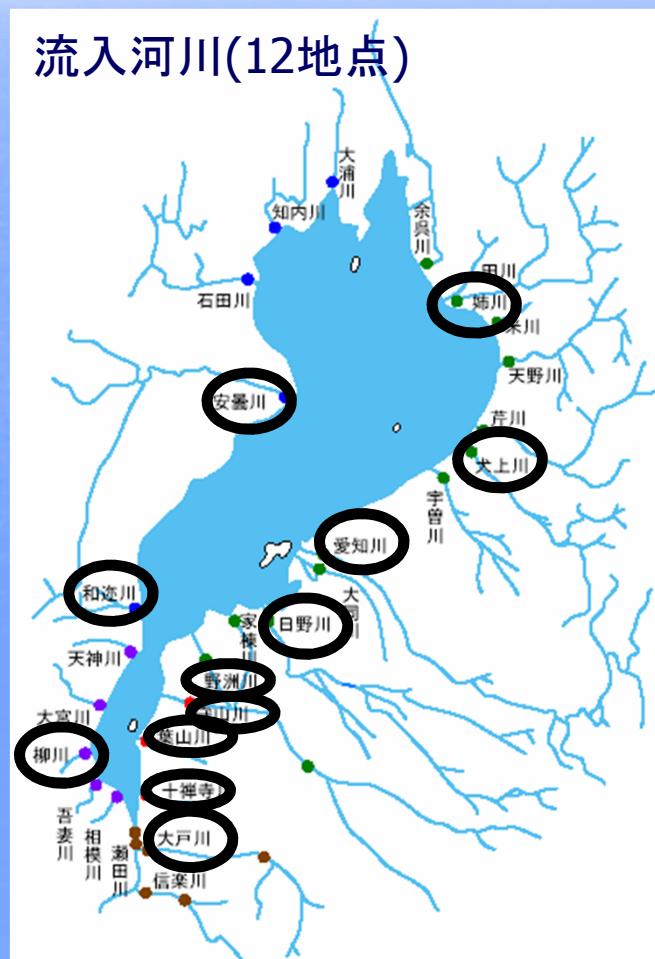
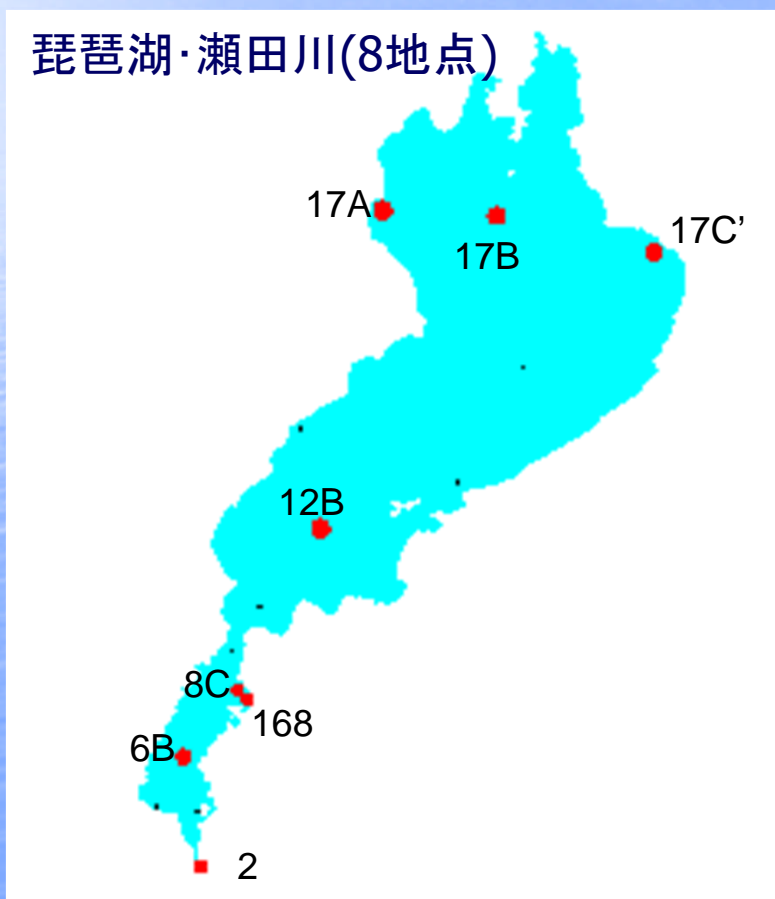
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
○居川俊弘、津田泰三

はじめに

- 平成20年度～21年度にかけての、琵琶湖・瀬田川および流入河川におけるPFOS・PFOA濃度調査の結果、琵琶湖では南湖の沿岸域と瀬田川において、河川では南湖東部流入河川でのPFOAが高い傾向が認められたことを2009年の本シンポジウムで報告した。
- 今回、PFOS、PFOA類縁の炭素鎖長の異なるPFCsについて分析法を確立し、琵琶湖・瀬田川および主要流入河川における実態把握調査を行った。

調査方法

- 試料採取時期: 5月および8月(琵琶湖)、8月(河川)
- 試料採取地点



調査方法

● 分析方法: 固相抽出-LC/MS/MS



- 分析対象: C4~C14、C16、C18のペルフルオロカルボン酸 (PFCAs) およびC4、C6~C10のペルフルオロスルホン酸 (PFASs)

